

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 2 年 4月 10日

事業所名 それいゆ療育センター佐賀

保護者等数（児童数） 30 回収数 18 割合 60 %

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 18 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16 | 1 | | 1 | 新しい先生がどのような勉強をされているか気になります。専門性に関しては、わかりません。先生方がどのような資格を持ってらっしゃるのかわかりません。 | 職員向けに内部研修を毎月行っています。また年に2回ほど外部講師よりコンサルテーションを受け助言を頂いたり、外部研修に参加して専門性を高める努力をしております。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 18 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 15 | 2 | | 1 | 活動スペースの清潔さは、部屋へ入った事がないので不明ですが、いつもしっかり掃除がなされていると思います。おやつ前の消毒など子供も家での習慣になったりしてとても助かります。 | 掃除、消毒はクラス終了後に毎回行っております。清潔を保てるよう今後も努力してまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか | 17 | 1 | | | | |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 17 | 1 | | | 家族支援、地域支援に関してはよくわかりません。 | 家族支援については定期的に支援会議を開催し子育て上の課題やの聞き取り・助言等をさせて頂いております。地域支援については幼稚園・学校等との移行支援、担当者会議にて他の事業所等との連携を行っております。 |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 17 | 1 | | | | |
| | 8 | 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか | 16 | | | 2 | | |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 1 | 11 | 4 | 今のところ障害のない子どもとの活動は求めています。 | 現在は行っておりません。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|---|----|---|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 18 | | | | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 18 | | | | | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか | 7 | 5 | 2 | 4 | 仕事をしていると、なかなか参観が難しいので、子供がセッションを受けている間にペアレント・トレーニング等受けられれば助かるなど思います。 | 保護者交流会の際に、障害特性やこどもさんへの適切な対応についてのお話などもさせて頂いております。みなさまが参加しやすいように日時の工夫をまいります。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 18 | | | | 家族以上に子供の特性を知っている先生の存在が有難く、頼りにさせて頂いています。今後ともよろしくお願い致します。 | 今後もこどもさんの発達に合わせて支援のご提案をさせていただいたり、ご質問にお答えできるよう努めてまいります。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 17 | 1 | | | しっかり対応していただいていると思います。対応の仕方や工夫などとてもわかりやすく説明してくださるので、とても助かります。 | 4か月に1回は支援会議を行い、課題の聞き取りや助言等をさせて頂いております。 |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 6 | 4 | 3 | 5 | わかりません。なかなか他の保護者さんとの関りがありません。連携が支援されているかも疑問です。 | 年に3回程度保護者交流会を開催しております。今年度も案内を掲示いたしますのでご都合がよければご参加よろしくお願い致します。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 14 | 2 | | 2 | | |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 15 | 2 | | 1 | もう少しできたらと思います。連絡帳やセッション終了後などで、出ていますが、他者へお願いした時などは少し情報伝達がうまくいかない時があると思います。 | 情報伝達不足があり申し訳ございません。そのようなことがないよう職員間でもより一層気を付けてまいります。 |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 11 | 3 | | 4 | ホームページを見る事がありますが、あまり更新されている感じがしません。 | 会報の発行やホームページの更新等について今後検討してまいります。 |
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 16 | | | 2 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 10 | 2 | | 6 | マニュアルがあるのかもしれませんが、見たことがないのでわかりません。 | 各種マニュアルを策定し、受付に設置しております。今後保護者様に周知できるよう工夫してまいります。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 8 | 2 | 2 | 6 | | 毎月1回避難訓練を行っておりますが時間の都合上特定のグループで行っております。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 16 | 1 | 1 | | 通所は楽しみにしていますが、行事等で通所回数が減ってしまうのが残念です。途中、園を抜けたり、早退するもの。幼稚園活動が済んでからの通所だと、なお良いのではと思う事があります。とても楽しみにしていて、とても本人が落ち着いて学べているのでいいと思います。 | 今後も子どもさんが楽しみにしていただけるようなプログラムを検討してまいります。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 14 | 3 | | 1 | 適性に合わせたグループを組まれていますが、グループの人数が2人というのは少ないと思います。マンツーマンで手厚く見てもらえますが、もう少し人数が多いほうが幼稚園、保育園での活動へ結びつきやすいのではないのでしょうか。とても満足している。感謝しかありません。今後、療育センターがある佐賀伊万里から離れた地域に住んでいる人達も、それいゆの療育が受けやすくなる事を期待しています。 | 特性に合わせたグループ編成にしているため意図せず人数が少ないグループになることもありますが子どもさんの成長に合わせてグループの人数やメンバーを調整してまいります。 |

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。